

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日  
上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社  
 コード番号 2750 URL <http://www.ishimitsu.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 森本 茂  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員管理部門長 (氏名) 山根 清文 (TEL) 078-861-7791(代表)  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	26,407	4.5	281	5.1	201	—	55	—
25年3月期第3四半期	25,274	△5.4	267	107.8	△38	—	△155	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 77百万円(—%) 25年3月期第3四半期 △89百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.25	—
25年3月期第3四半期	△20.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	21,363	7,583	34.6
25年3月期	19,230	7,579	38.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,400百万円 25年3月期 7,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,680	6.4	334	△18.3	113	—	5	—	0.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,000,000株	25年3月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	291,711株	25年3月期	291,711株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	7,708,289株	25年3月期3Q	7,708,311株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済対策および金融政策の効果を背景に、輸出を中心とした企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、消費税率の引き上げを控えていることや、欧米の財政問題および新興国経済の減速など依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましても、消費者の節約志向および低価格志向が引き続き強く、円安による海外仕入れのコストアップの影響もあり、予断を許さない状況であります。また、コーヒー業界におきましても、コーヒー生豆相場の変動や為替相場の影響等もあり先行き不透明な状況であります。

このような状況のなか、当社グループは現在推進中である新成長戦略「GO GO PLAN」達成に向けて、当連結会計年度は事業運営体制の強化として「営業力強化」「業務効率の向上」「品質管理の充実」、事業拡大として「新規事業・新商品開発」「新規顧客開拓」「海外事業」に取り組んでおります。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は26,407百万円（前年同期比4.5%増加）となりました。利益面につきましては、売上高の増加等により、営業利益は281百万円（前年同期比5.1%増加）、経常利益は201百万円（前年同期は38百万円の経常損失）となりました。また、四半期純利益は55百万円（前年同期は155百万円の四半期純損失）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。なお、当連結会計年度期首より組織変更を行ったため、当第 3 四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

## ① コーヒー・飲料部門

## 1) コーヒー生豆

コーヒー生豆のニューヨーク市場価格(期近終値ベース)は、期初の1ポンドあたり138.40セントから11月にはここ数年の安値である101.50セントとなり、12月末には116.35セントで終了いたしました。販売袋数は前年同期と比べ増加いたしました。コーヒー生豆相場の下落影響を受けて、売上高は前年同期比11.6%減少いたしました。

## 2) コーヒー加工品

レギュラーコーヒーは、引き続きコーヒーバッグの販売数量が順調に拡大いたしました。また、利益面においてもコーヒー生豆相場の下落傾向により増加いたしました。

インスタントコーヒーは、売上高は増加いたしました。為替相場の影響によるコスト高の転嫁が進まず利益率は低下いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比13.0%増加いたしました。

3) 飲料事業

茶類の売上高は、緑茶・ウーロン茶バルク商品および穀物茶が順調に拡大いたしました。利益面については、紅茶バルク商品が為替相場の影響を受けコスト高となり減少いたしました。

飲料原料の売上高は、飲料メーカー向け原料の販売が伸び悩んだため減少いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は前年同期比4.1%増加いたしました。

これらの理由により、コーヒー・飲料部門の売上高は8,083百万円（前年同期比1.5%減少）となりました。

② 食品部門

1) 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、黄桃およびマッシュルーム缶詰が好調に推移し、売上高は前年同期比11.0%増加いたしました。

イタリアからの輸入食品は、オリーブオイルの販売が好調に推移いたしました。前期切り替えを行ったパスタブランドのシェアアップが進まず、売上高は前年同期比6.6%減少いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比1.3%減少、冷凍食品の売上高は前年同期比3.4%減少いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比1.1%減少いたしました。

2) 水産および調理冷蔵

水産は、主力商品であるエビ加工品の市場における品不足状態が引き続き継続しており、為替相場の変動に伴うコストアップの価格転嫁も順調に進みました。

調理冷蔵は、調理水産加工品および国産冷凍食品が好調に推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比15.1%増加いたしました。

3) 農産

農産は、生鮮野菜の玉葱およびレタスの販売が伸び悩みましたが、塩蔵野菜および水煮野菜は引き続き好調に推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比3.6%増加いたしました。

これらの理由により、食品部門の売上高は15,840百万円（前年同期比5.0%増加）となりました。

③ 海外事業部門

円安基調を背景に、輸出は東南アジアの販売増加および欧州での新規開拓が進み、三国間貿易も業績に貢献したため、海外事業部門の売上高は2,483百万円（前年同期比24.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、資産合計は21,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,132百万円の増加となりました。これは主に売上債権およびたな卸資産の増加によるものであります。

負債合計は13,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,128百万円の増加となりました。これは主に社債の減少に対し、仕入債務および借入金の増加によるものであります。

純資産合計は7,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円の増加となりました。これは主に配当金の支払い77百万円に対し、当第 3 四半期連結累計期間の四半期純利益55百万円およびその他有価証券評価差額金の増加26百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年 5 月 10 日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、今後修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,674,576	2,551,574
受取手形及び売掛金	6,231,316	7,838,817
商品及び製品	3,239,651	3,800,012
未着商品	675,660	750,673
仕掛品	13,039	2,297
原材料及び貯蔵品	71,102	85,528
その他	426,236	545,074
貸倒引当金	△13,343	△14,153
流動資産合計	13,318,240	15,559,825
固定資産		
有形固定資産	2,830,885	2,733,397
無形固定資産	68,780	69,319
投資その他の資産		
投資有価証券	2,575,554	2,578,622
その他	535,328	535,843
貸倒引当金	△104,603	△117,413
投資その他の資産合計	3,006,280	2,997,051
固定資産合計	5,905,946	5,799,767
繰延資産	6,318	3,876
資産合計	19,230,505	21,363,469



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,127,770	4,244,326
短期借入金	936,800	2,080,000
1年内償還予定の社債	180,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	1,498,800	1,599,500
未払法人税等	132,536	6,546
賞与引当金	125,487	65,464
その他	1,230,061	1,454,047
流動負債合計	7,231,456	9,609,884
固定負債		
社債	370,000	230,000
長期借入金	3,203,600	3,172,000
退職給付引当金	119,720	107,817
その他	726,158	659,879
固定負債合計	4,419,478	4,169,696
負債合計	11,650,934	13,779,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	357,000	357,000
利益剰余金	6,320,170	6,298,995
自己株式	△107,415	△107,415
株主資本合計	7,192,955	7,171,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,481	59,290
繰延ヘッジ損益	163,475	143,441
為替換算調整勘定	9,241	25,697
その他の包括利益累計額合計	205,198	228,429
少数株主持分	181,416	183,678
純資産合計	7,579,570	7,583,887
負債純資産合計	19,230,505	21,363,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	25,274,928	26,407,362
売上原価	22,143,476	23,234,784
売上総利益	3,131,452	3,172,578
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△16,692	13,639
報酬及び給料手当	829,988	845,882
賞与引当金繰入額	60,648	60,120
その他	1,989,961	1,971,773
販売費及び一般管理費合計	2,863,906	2,891,415
営業利益	267,545	281,162
営業外収益		
受取利息	3,970	3,186
受取配当金	2,708	3,556
受取賃貸料	17,850	16,650
その他	28,452	29,740
営業外収益合計	52,981	53,132
営業外費用		
支払利息	89,079	83,310
持分法による投資損失	254,719	31,243
その他	15,138	18,154
営業外費用合計	358,936	132,709
経常利益又は経常損失 (△)	△38,409	201,586
特別利益		
投資有価証券売却益	—	174
特別利益合計	—	174
特別損失		
固定資産売却損	—	253
固定資産除却損	1,395	9,990
貸倒引当金繰入額	3,350	200
特別損失合計	4,745	10,443
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△43,155	191,316
法人税、住民税及び事業税	53,760	29,672
法人税等調整額	59,813	107,740
法人税等合計	113,574	137,412
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△156,729	53,903
少数株主損失 (△)	△1,099	△2,003
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△155,629	55,907

四半期連結包括利益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△156,729	53,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,567	12,195
繰延ヘッジ損益	58,061	△20,033
為替換算調整勘定	△355	16,455
持分法適用会社に対する持分相当額	7,733	14,613
その他の包括利益合計	67,007	23,231
四半期包括利益	△89,721	77,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,622	79,138
少数株主に係る四半期包括利益	△1,099	△2,003

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。